

# 進路とは自分の生き方

高校生活も最終学年を迎えました。いよいよ今年は進路決定の年です。来年の今頃、自分がどこでどのような新しいスタートを切っているかイメージできますか？ 来年の自分どころか、今年が受験（進学、就職いずれにせよ）の年であるということ、実感できていない人もいるのではないのでしょうか。あるいは、自分が本当に進路実現に立ち向かえるのか不安に思っている人もいるでしょう。社会の情勢もまだまだ不安定です。しかし、不安定な情勢だからこそ、揺るがないものを頼りに受験勉強に取り組んでほしいのです。その揺るがないものこそ、皆さんの進路に対する「決意」です。「進路」というのは高校卒業後の進学先や就職先だけを指すではありません。皆さんの進む道、すなわち自分の生き方です。自分がこれから生きて行くにあたって何を核にするのか、何を拠り所として生きていくのか、その選択をしていくことが、実は進路を決めるということです。江戸時代の儒学者安井息軒は「一生の計は少壮の時に在り」と述べています。少壮の時とは若くて意気盛んな時期のことです。ですから人生の方向性を決める、まさにそのことこそが今年の皆さんの大きな課題です。悩まないはずはありません。大いに悩み、大いに考えましょう。そして、そのプロセスからおぼろげながらも、自分の人生の方向が見えてきたら、希望進路の実現は間近であるということです。ラスト一年間、頑張りましょう。

## 進路指導部について

### 進路指導部の仕事とは

皆さんの進路に関するすべてのことを担当しています。就職に関することや専門学校、短大、4年制大学に関するあらゆる情報が進路指導部に集まります。その情報を皆さんの役に立つ形に変えて提供します。教室の本棚にある進路関係の本や資料も進路指導部が選んで、担任の先生に置いてもらっているものです。また、提供だけではなく、相談にも乗っています。昨年度の3年生も、自分の進路について、学部や学科について、どんな大学があるのかについてなど、本当に様々なことを進路指導部の先生に相談にきていました。進路指導部には各方面の進路関係のエキスパートがそろっています。そして進路は100人いれば100人とも違い、なおかつ自ら動かないと切り開かれていきません。どんな相談にも対応しますので、今年は積極的に足を運んでみてください。

### 進路指導部のスタッフと利用心得

右面参照。

○進路指導室は、就職や進学を扱う部屋です。身なりを整えて入室してください。

○先生に用事のある人は「失礼します。」と言ってカウンターの前まで来てください。名乗って要件を伝えてください。

○各大学からの資料や過去問が豊富にあります。総合型/学校推薦型選抜が増加している現在、大いに利用してください。各種資料や赤本を見に来た人は名乗らなくてもかまいません。ただし勝手に資料をもっていかないように。

○貸し出しのルール（右枠）は必ず守ってください。

○他にも、模試の申し込み期限は必ず守ること。また推薦等の重要な説明会は参加しないと資格を失いますので注意

### 進路指導部にある資料

あげればきりがなくいろいろな資料があります。例えば、赤本（各大学の過去の入試問題集）、入試問題正解や模試の集冊版、先生方お薦めの参考書・問題集、各大学の学校案内や願書、就職の求人票や公務員関係の資料、小論文関係の書籍、受験勉強の仕方や大学選びの方法を書いた本、先輩たちの受験報告書などです。必要な本があれば進路指導部の先生に聞いてみてください。

### ○資料貸し出しのルール○

- ・ 螢雪時代、学校案内、入試要項、受験報告書……貸し出し不可（閲覧可）
- ・ 赤本、先生方お薦めの参考書・問題集……コピーのための一時貸し出し可（コピーしたい場合は、90分間程度の一時貸出しのみ可。貸出用紙がありますので申し出てください。）
- ・ 上記以外の資料……1泊2日の貸出し可。進路指導部の先生に申し出て、貸出用紙に記入して借りてください。

置いてある資料や本を勝手に持ち出すことは絶対にしないでください。

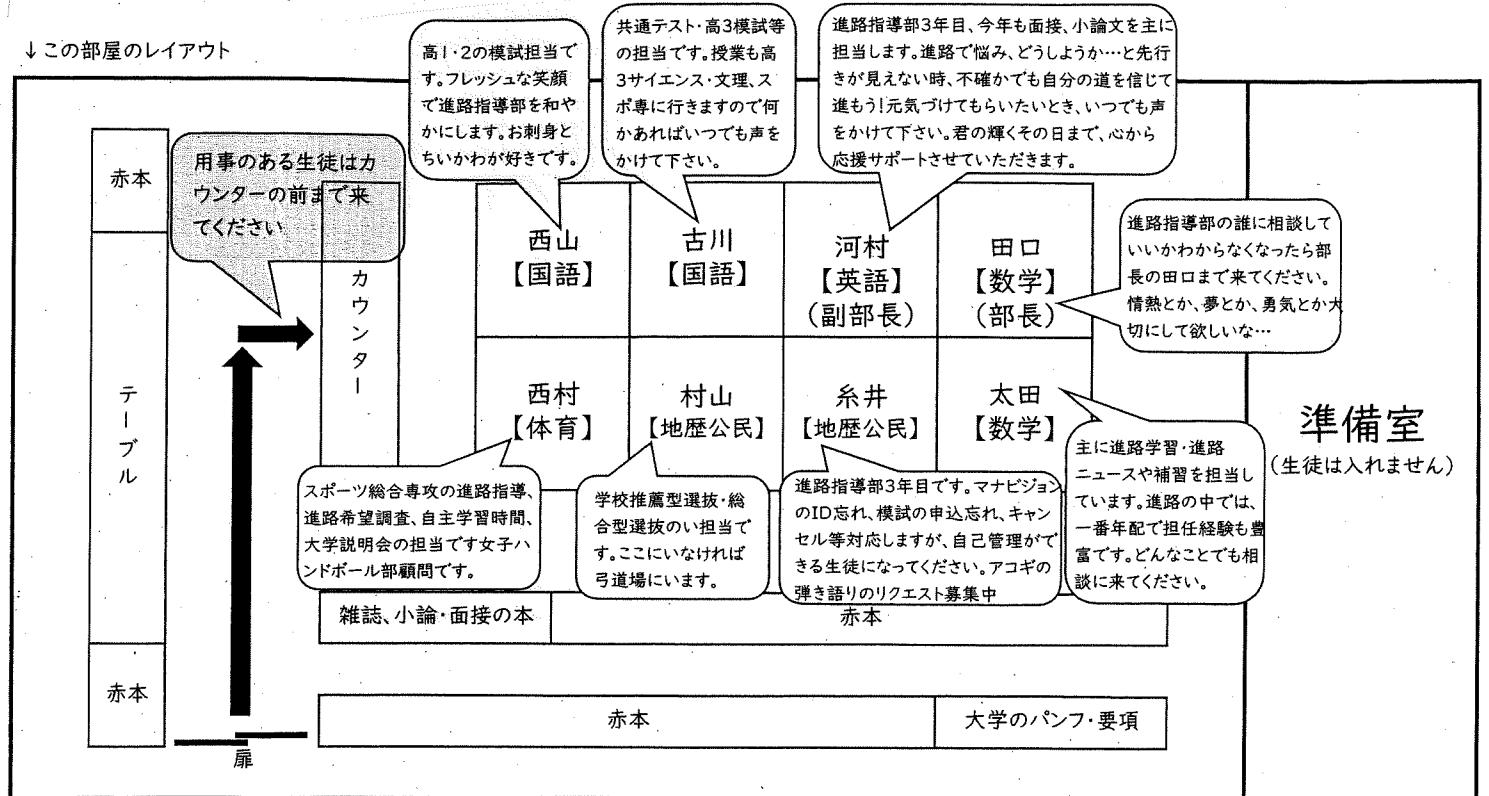
進路指導室の閲覧机は、資料を見たり進路相談をしたりするための場所です。閲覧机で赤本等を使って学習することはできません。2階の自習用机や3階の自習室等を利用してください。

### 各自で準備してほしいもの

指定校推薦や高大連携、国公立推薦型選抜、総合型選抜など、受験の際に、高校3年間の活動報告書の提出や面接を伴う入試が増えています。高校生活でどのような活動に取り組み、課題をどう乗り越え、その活動を通してどんな学びを得たかということ記録しておけば、振り返ったり、そこから気づいたり、新たな課題を見つけたりすることができます。部活動のこと、探究活動のこと、資格のこと、留学体験のこと、自分の強みと思われるものは大会記録や賞状のコピーも含め、必ずとっておいてください。

## 令和6年度 進路指導部

↓この部屋のレイアウト



- ・就職や進学を扱う部屋です。身なりをきちんと整えて、入室してください。
- ・先生に用事のある人は、「失礼します。」と言ってカウンターの前まで来てください。名乗って、用件を伝えてください。
- ・各種資料や赤本を見に来た人は、名乗らなくても構いません。ただし勝手に資料をもっていかないようにしてください。